授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)						
担当教員名	能見	公博	月	属等	創造科学	学技術研究部	
担ヨ教貝名	(NOMI M	asahiro)	矽	究室	工学部 1	号館 232 室	
分担教員名	川﨑 央						
クラス	M (クラス I )	学期	前	期	必修選択区分	必、選択	
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時間		月 3・4	
キーワード	情報処理、データサイエ ョンソフト		· - ·	•		•	
授業の目標	現代社会では「情報」を扱うための知識・スキルが強く求められています。本授業は、実習科目として、コンピュータを用いて「情報」を扱うため基本的な知識・スキルを獲得することを目指します。具体的には、(1)コンピュータを介したコミュニケーションができるようになる、(2)高度な文書やグラフの作成や複雑な計算を行うためにワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトといった Office ソフトウェアが利用できるようになる、(3)「情報」を適切に扱うことができるようになる、(4)コミュニケーションツールとしてコンピュータを適切に利用できるようになる、(5)基本的なデータ処理を表計算ソフトで行うことができるようになる、(6)コンピュータの仕組みを理解することを目指します。						
学習内容	ブラウザ、情報倫理、プ	コンピュータの操作と情報処理の基本を学習します。具体的にはワープロ、表計算ソフト、電子メール、ブラウザ、情報倫理、プレゼンテーションソフトなどの知識、利用方法を学習します。さらに、将来の大学での学びや職業人生活で「データ」を扱う基本的知識・スキル、Excel を用いたデータ処理を学びます。					
授業計画	1. 情報処理の基本 (基本的操作と情報倫理,担当:能見公博) 2. Windows の基本操作及び日本語入力 (担当:能見公博) 3. Office365 やメールの設定 (担当:能見公博) 4. インターネットを使った情報の検索 (ブラウザを使った情報検索,在宅授業,担当:能見公博,4週目に配信)【オンデマンド】 5. ドキュメント作成1 (ワープロソフトの基本,担当:能見公博) 6. ドキュメント作成2 (ワープロソフトの使ったドキュメント作成,担当:能見公博) 7. ドキュメント作成3 (ワープロソフトの使ったより高度な文書作成技能の習得,表の作成,数式エディタ,図などの利用,在宅授業,担当:能見公博,7週目に配信)【オンデマンド】 8. データ処理1 (表計算ソフトの基本,担当:川崎央) 9. データ処理2 (表計算ソフトの基本,担当:川崎央) 10. データ処理3 (表計算ソフトの関数の利用と応用,担当:川崎央) 11. データ処理4 (表計算ソフトを使った確率と統計分析,担当:川崎央) 12. プレゼンテーション (プレゼンソフトの基本,担当:川崎央) 13. プレゼンテーション (プレゼンソフトを使ったプレゼン資料作成,担当:川崎央) 14. コンピュータの仕組み及び情報セキュリティ Web セミナー (在宅授業,担当:川崎央,14週目に配信)【オンデマンド】						
受講要件	15. プレゼンテーション(プレゼンソフトを使ったプレゼンの実践,担当:川﨑央)   なし						
テキスト	Let's Enjoy Computing[2025]-情報処理・データサイエンス演習-、静岡大学情報教育プロジェクト編、学 術図書出版社、2025 年						
参考書							
予習・復習	予習:教科書に目を通す		/## HK の (+) LL ) 、 、	Librilio I. or -		12 Y #1	
について 成績評価の 方法・基準	復習:授業中に課された課題を行う(課題の実施にはおおよそ2時間程度の時間が必要) 評価の配分は、最終レポート30%、レポート課題70%である. 「秀,優,良,可,不可」の評価基準は次の通りである. 秀・・・・情報処理・データサイエンス演習の全般の理解に優れ、かつ応用に優れる. 優・・・・情報処理・データサイエンス演習の全般が理解でき、かつ応用ができる. 良・・・・情報処理・データサイエンス演習の全般が理解できる. 可・・・・情報処理・データサイエンス演習の基本が理解できる. 不可・・・・情報処理・データサイエンス演習の基本が理解できる.						
オフィス アワー			不可・・・・情報処理・データサイエンス演習の基本が理解できない. 担当各先生あてに、メール等で事前に連絡を取って下さい。				

担当教員か 実習室でパソコンを利用するための ID とパスワード、メールアドレスは、入学時に配布されているのメッセ 1回目の授業日に、それらの情報を必ず持参すること	ます.
I DIEDの授業日に、それにの信報を選ば接続するとし	
SOX yt	
ア ク テ ィ 調査学習〔インターネットを使った情報の検索〕、プレゼンテーション〔プレゼンソフトを使った	こプレゼ
ブ・ラーニ   ン実践]	
ング	
実務経験の	
ある教員の	
有無	
実務経験の	
ある教員の	
経歴と授業	
内容	
授業実施形 対面授業科目〔12回〕	
能	
オンライン 4,7,14回目の授業はオンデマンド動画による在宅授業になります.授業中に指定された方法で受	多譜(
	(呼 ),
授業(詳細) 課題を提出してください.	
教職科目区	
分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)						
	真田	俊之		所属	等	創造科学	<u></u>
担当教員名	(SANADA 7			研究	定室	工学部 1	号館 232 室
分担教員名	武田 正典						
クラス	M (クラスⅡ)	学期		前期		必修選択区分	必、選択
対象学年	1年	単位数	2		曜日・時限		金 3·4
キーワード	情報処理、データサイエ ョンソフト	ンス、情報係	神理、電子メ	マール、	ワープロソ	フト、表計算ン	ノフト、プレゼンテーシ
授業の目標	コンピュータを用いて「は、(1) コンピュータを や複雑な計算を行うため ソフトウェアが利用でき ニケーションツールとし	現代社会では「情報」を扱うための知識・スキルが強く求められています。本授業は、実習科目として、コンピュータを用いて「情報」を扱うため基本的な知識・スキルを獲得することを目指します。具体的には、(1) コンピュータを介したコミュニケーションができるようになる、(2) 高度な文書やグラフの作成や複雑な計算を行うためにワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトといった Office ソフトウェアが利用できるようになる、(3) 「情報」を適切に扱うことができるようになる、(4) コミュニケーションツールとしてコンピュータを適切に利用できるようになる、(5) 基本的なデータ処理を表計算ソフトで行うことができるようになる、(6) コンピュータの仕組みを理解することを目指します。					
学習内容	ブラウザ、情報倫理、プ	コンピュータの操作と情報処理の基本を学習します.具体的にはワープロ,表計算ソフト,電子メール,ブラウザ,情報倫理,プレゼンテーションソフトなどの知識,利用方法を学習します.さらに,将来の大学での学びや職業人生活で「データ」を扱う基本的知識・スキル,Excelを用いたデータ処理を学びます.					
授業計画	<ol> <li>情報処理の基本(基本的操作と情報倫理,担当:武田正典)</li> <li>Windows の基本操作及び日本語入力(担当:武田正典)</li> <li>Office365 やメールの設定 (担当:武田正典)</li> <li>ドキュメント作成1 (ワープロソフトの基本,担当:武田正典)</li> <li>ドキュメント作成2 (ワープロソフトの使ったドキュメント作成,担当:武田正典)</li> <li>ドキュメント作成3 (ワープロソフトの使ったより高度な文書作成技能の習得,表の作成,数式エディタ,図などの利用,担当:武田正典)</li> <li>インターネットを使った情報の検索(ブラウザを使った情報検索,在宅授業,担当:武田正典,7週目に配信)【オンデマンド】</li> <li>データ処理1 (表計算ソフトの基本,担当:真田俊之)</li> <li>データ処理2 (表計算ソフトによるデータの可視化,担当:真田俊之)</li> <li>データ処理3 (表計算ソフトの関数の利用と応用,担当:真田俊之)</li> <li>データ処理4 (表計算ソフトを使った確率と統計分析,担当:真田俊之)</li> <li>プレゼンテーション(プレゼンソフトの基本,担当:真田俊之)</li> <li>プレゼンテーション(プレゼンソフトを使ったプレゼン資料作成,担当:真田俊之)</li> <li>プレゼンテーション(プレゼンソフトを使ったプレゼン資料作成,担当:真田俊之)</li> <li>プレゼンテーション(プレゼンソフトを使ったプレゼン資料作成,担当:真田俊之)</li> <li>プレゼンテーション(プレゼンソフトを使ったプレゼンの実践,担当:真田俊之)</li> <li>プレゼンテーション(プレゼンソフトを使ったプレゼンの実践,担当:真田俊之)</li> </ol>						
受講要件	なし						
テキスト	Let's Enjoy Computing[2025]-情報処理・データサイエンス演習-,静岡大学情報教育プロジェクト編,学 術図書出版社,2025 年						
参考書							
予習・復習 について	予習:教科書に目を通す 復翌・授業中に課された		(運販の宝+	毎にけ	おおトスの吐	問程度の時間	が必要)
成績評価の方法・基準	復習:授業中に課された課題を行う(課題の実施にはおおよそ2時間程度の時間が必要) 評価の配分は、最終レポート30%、レポート課題70%である. 「秀、優、良、可、不可」の評価基準は次の通りである. 秀・・・・情報処理・データサイエンス演習の全般の理解に優れ、かつ応用に優れる. 優・・・・情報処理・データサイエンス演習の全般が理解でき、かつ応用ができる. 良・・・・情報処理・データサイエンス演習の全般が理解できる. 可・・・・情報処理・データサイエンス演習の基本が理解できる. 不可・・・・情報処理・データサイエンス演習の基本が理解できる.						
オフィスアワー	担当各先生あてに、メー	ル等で事前に	こ連絡を取っ	って下			

担当教員からのメッセージ	実習室でパソコンを利用するための ID とパスワード,メールアドレスは,入学時に配布されています. 1回目の授業日に,それらの情報を必ず持参すること
ア ク テ ィ ブ・ラーニ ング	調査学習〔インターネットを使った情報の検索〕、プレゼンテーション〔プレゼンソフトを使ったプレゼン実践〕
実務経験の	
ある教員の	
有無	
実務経験の	
ある教員の	
経歴と授業	
内容	
授業実施形	対面授業科目〔13回〕
態	
オンライン	7,14回目の授業はオンデマンド動画による在宅授業になります.授業中に指定された方法で受講し、課
授業 (詳細)	題を提出してください.
教職科目区	
分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)						
担当教員名	武田	和宏	所属	<b>属等</b>	学彩	<b>务</b> 部	
四人人人	(TAKEDA I	Kazuhiro)	研多	空			
分担教員名	立元 雄治、藤本 圭佑						
クラス	C (クラス I )	学期	前期	前期		必、選択	
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限		火 3・4	
キーワード	アプリによる情報処理、						
授業の目標	ため,(1) コンピュータ 成や複雑な計算を行うた ソフトウェアが利用でき ニケーションツールとし 算ソフトで行うことがで	本授業は、実習科目として、コンピュータを用いて「情報」を扱うため基本的な知識・スキルを獲得する ため、(1) コンピュータを介したコミュニケーションができるようになる、(2) 高度な文書やグラフの作 成や複雑な計算を行うためにワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトといった Office ソフトウェアが利用できるようになる、(3) 「情報」を適切に扱うことができるようになる、(4) コミュ ニケーションツールとしてコンピュータを適切に利用できるようになる、(5) 基本的なデータ処理を表計 第ソフトで行うことができるようになることを目指します。さらに、専門科目の学習支援、実験科目のレ					
学習内容	コンピュータの操作と情 ブラウザ,情報倫理,プ 学での学びや職業人生活	ポート作成にも役立つ化学系アプリの使い方を体験してもらいます。 コンピュータの操作と情報処理の基本を学習します。具体的にはワープロ、表計算ソフト、電子メール、ブラウザ、情報倫理、プレゼンテーションソフトなどの知識、利用方法を学習します。さらに、将来の大学での学びや職業人生活で「データ」を扱う基本的知識・スキル、Excel を用いたデータ処理を学びます. 化学系アプリの使用も体験します。					
受講要件	期末試験は実施しませんので、全回対面授業となります。 第12回~15回は別日程(集中講義)にて実施します(日程は別途連絡します)。 試験期間前に実施するため第15回も試験期間に含まれません。 1. 静大 ID とパスワード、情報端末、学務情報システム office365(Word、Excel、Power point)の PC へのインストール方法 電子メールの使用方法 2. セキュリティ関連(情報倫理、SNS の注意点、情報セキュリティセミナーの実施) 電子レポートの提出方法(学情、C 科レポート提出システム) 3. ドキュメント作成 1:Word Word の起動、文章の作成と編集、オートコレクト 4. ドキュメント作成 2:Word 段落書式、文字書式、ページ設定 5. ドキュメント作成 3:Word 表の作成、図作成と挿入、数式ツール 6. データ処理 1:Excel Excel の起動、文字・数値入力、セルの挿入・削除 7. データ処理 2:Excel 数値データの処理と演算、関数の利用 8. データ処理 3:Excel 関数の応用 9. データ処理 4:Excel データの可視化 10. ブレゼンテーション 1:PowerPoint ブレゼンレーションの作成と保存、スライドの編集 11. プレゼンテーション 2:PowerPoint プレゼンテーション 1:ChemOffice を使った作画 13. 化学系アプリ 1:ChemOffice を使った検索 15. 化学系アプリ 3:SciFinder を使った検索 15. 化学系アプリ 3:SciFinder の便利な使い方						
テキスト	Let's Enjoy Computing[ 術図書出版社、2025 年	2025]-情報奴	<u>l</u> 理・データサイコ	ニンス演習・、	静岡大学情報教育	育プロジェクト編、学	
参考書							
予習・復習 について	予習:テキストを読んで 復習:講義時の課題を実				-	<u></u> る。	
成績評価の方法・基準	演習科目のため試験は実 第1回~第11回,第15	施せず、講	<b>嚢時の課題の完成</b>	度によって評	価します。		

	格(評価対象)とし、評価対象者に対して各回の得点を均等に評価して最終評価とします。
	なお、どちらかの期間(あるいは両期間)で不合格になった場合には全体でも不合格となります。
オフィスアワー	メールでの質疑等を随時受け付けます。   また訪問して質問する場合にはメールにて事前にアポイントを取ってください。   担当教員の連絡先は,初回講義時(またはガイダンス時配布資料にて)に連絡します。
担当教員からのメッセージ	実習室でパソコンを利用するための ID とパスワード, メールアドレスは, 入学時に配布されています。  1回目の授業日に, それらの情報を必ず持参すること。
アクティ	プレゼンテーション〔プレゼンテーションソフトを使用〕
ブ・ラーニ	
ング	
実務経験の	
ある教員の	
有無	
実務経験の	
ある教員の	
経歴と授業	
内容	
授業実施形	対面授業科目
態	
オンライン	
授業 (詳細)	
教職科目区	
分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)						
	m 4 <del>;</del>			所属等			·務部
担当教員名	武田 (TAKEDA I	111/4					333 HP
分担教員名	立元 雄治、藤本 圭佑						
クラス	C (クラスⅡ)	学期		前期		必修選択区分	必、選択
対象学年	1年	単位数	2	B	醒日・時限		火 1・2
キーワード	アプリによる情報処理、	データサイニ	エンス、情報	B倫理、	化学系アプ	リ	
授業の目標	ため、(1) コンピュータ 成や複雑な計算を行うた ソフトウェアが利用でき ニケーションツールとし 算ソフトで行うことがで	ト授業は、実習科目として、コンピュータを用いて「情報」を扱うため基本的な知識・スキルを獲得する ため、(1) コンピュータを介したコミュニケーションができるようになる、(2) 高度な文書やグラフの作 成や複雑な計算を行うためにワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトといった Office ソフトウェアが利用できるようになる、(3)「情報」を適切に扱うことができるようになる、(4) コミュ ニケーションツールとしてコンピュータを適切に利用できるようになる、(5) 基本的なデータ処理を表計 算ソフトで行うことができるようになることを目指します。さらに、専門科目の学習支援、実験科目のレ ポート作成にも役立つ化学系アプリの使い方を体験してもらいます。					
学習内容	ブラウザ,情報倫理,プ 学での学びや職業人生活	トード作成にも役立っ化学ポテクリの使い方を体験してもらいます。 コンピュータの操作と情報処理の基本を学習します。具体的にはワープロ、表計算ソフト、電子メール、 ブラウザ、情報倫理、プレゼンテーションソフトなどの知識、利用方法を学習します。さらに、将来の大 さでの学びや職業人生活で「データ」を扱う基本的知識・スキル、Excel を用いたデータ処理を学びます。 と学系アプリの使用も体験します。					
授業計画	第 12 回~15 回は別日名だれ 1. 静大 ID とのでは別日るたい 1. 静大 ID とのでは別日る 1. 静大 ID とのでは別古る 2. では別古のでは別古のでは別古のでは別古のでは別古のでは別古のでは別古のでは別古の	2. セキュリティ関連(情報倫理, SNS の注意点, 情報セキュリティセミナーの実施)電子レポートの提出方法(学情, C 科レポート提出システム) 3. ドキュメント作成 1: Word Word の起動, 文章の作成と編集, オートコレクト 4. ドキュメント作成 2: Word 段落書式, 文字書式, ページ設定 5. ドキュメント作成 3: Word 表の作成, 図作成と挿入, 数式ツール 6. データ処理 1: Excel Excel の起動, 文字・数値入力, セルの挿入・削除 7. データ処理 2: Excel 数値データの処理と演算, 関数の利用 8. データ処理 3: Excel 関数の応用 9. データ処理 4: Excel データの可視化 10. プレゼンテーション 1: PowerPoint プレゼンレーションの作成と保存, スライドの編集 11. プレゼンテーション 2: PowerPoint スライドの整理, 動きのあるプレゼンテーション 12. 化学系アプリ 1: ChemOffice を使った作画 13. 化学系アプリ 2: ChemOffice を使った解析					
受講要件	Let's Enjoy Computing[ 術図書出版社,2025 年	2025]-情報奴	埋・データ	サイエン	⁄ス演習,‡	争岡大学情報教	有プロジェクト編,学
参考書	四四日四灰江,2020年						
予習・復習 について	   予習:テキストを読んで   復習:講義時の課題を実	•				-	トス
成績評価の方法・基準	復自・講教時の味趣を美 演習科目のため試験は実 第1回~第11回,第15	施せず,講	<b>養時の課題の</b>	完成度	こよって評	価します。	

	格(評価対象)とし、評価対象者に対して各回の得点を均等に評価して最終評価とします。
	なお、どちらかの期間(あるいは両期間)で不合格になった場合には全体でも不合格となります。
オフィスアワー	メールでの質疑等を随時受け付けます。   また訪問して質問する場合にはメールにて事前にアポイントを取ってください。   担当教員の連絡先は,初回講義時(またはガイダンス時配布資料にて)に連絡します。
担当教員からのメッセージ	実習室でパソコンを利用するための ID とパスワード, メールアドレスは, 入学時に配布されています。  1回目の授業日に, それらの情報を必ず持参すること。
アクティ	プレゼンテーション〔プレゼンテーションソフトを使用〕
ブ・ラーニ	
ング	
実務経験の	
ある教員の	
有無	
実務経験の	
ある教員の	
経歴と授業	
内容	
授業実施形	対面授業科目
態	
オンライン	
授業 (詳細)	
教職科目区	
分	

授業科目名				データサイエ cessing and	•-	• • •	
+11 以 #4 吕 友	小西	達裕		所属等		学術院情	青報学領域
担当教員名	(KONISHI	Tatsuhiro) 研究室				J — 1	1 3 0 9
分担教員名							
クラス	情	学期	後期		必修選択区分	必	
対象学年	1年	単位数	2		・時限		火 1・2
キーワード	Word、Powerpoint、Ex イエンス						
授業の目標	今や?学?にとって、情報機器を活?するスキルは必須のものとなっています。インターネットを使った膨? な情報へのア クセスや遠隔地とのコミュニケーション、ワープロや表計算ソフトを使った?書の作成や計算・グラフの 作成、PC で作成し たスライドを使ってのプレゼンテーションなど、どれもできて当然。とはいっても、実際に体験してみなければ?につかな いものです。本科?の履修により。ワープロ、表計算、プレゼンテーションツール、インターネットを実践的に活?できる ようになります。体験を重視するため、課題・宿題が?較的多くなります。意欲をもって取り組んでください。						
学習内容	個?所有のノート PC を使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウエアの使い?を実習します。 教材(?声つきスライド)をダウンロードして視聴し、そこで指?された課題に取り組む形式が基本です。 本年度は【昨年 度までと異なり教室での集合授業になりますので】注意してください。 ・和?ワープロ Word による?書作成 ・プレゼンテーションツール?Powerpoint によるプレゼン資料作成と発表 ・表計算ソフト Excel?による統計データ処理に基づく問題解決						
授業計画	1. Word 編(学びの PDCA サイクル) ????? 5週 ??第1週?概要説明と学習?標の設定 ??第2週?設定した学習?標に基づく実践的学習 ??第3週?設定した学習?標に基づく実践的学習 ??第4週?設定した学習?標に基づく実践的学習 ??第5週?学習プロセスの振り返りと報告書の作成 3. Powerpoint 編 (ピアレビュー)????? 5週 ?第1週?概要説明と学習?標の設定 ??第2週?設定した学習?標に基づく実践的学習 ??第3週?設定した学習?標に基づく実践的学習 ??第3週?設定した学習?標に基づく実践的学習 ??第4週?ピアレビュー (相互評価) ?プレゼンテーションの作成 ??第5週?ピアレビューとレビュー結果の確認、学習プロセスの振り返り 4. Excel 編 (データの統計処理に基づく問題解決)?? 5週 ??第1週?概要説明と学習?標に基づく実践的学習、統計に基づく問題解決の実例 ??第2週?設定した学習?標に基づく実践的学習、統計に基づく問題解決の実例 ??第3週?設定した学習?標に基づく実践的学習、各?の問題解決テーマの設定 ??第4週?統計に基づく問題解決の実践 6.2の問題解決テーマの設定 ??第5週? (オンデマンド授業:試験週の任意の日時に受講する) 統計に基づく問題解決の実践と報告書の作成 ??????※オンデマンド授業では統計に基づく問題解決の実践例を参照しながら各?の ???????問題解決課題を進めその報告書を作成する。						
受講要件	情報学部1年前期の専?科?で PC の基本的な使??法を既に学んでいる学?を対象とします。他学部?は基本的には前期の講義を受講してください。						
テキスト	各回に教材ファイルを配	· -			\d	46 let - % 11	<b>-</b>
参考書	Let's Enjoy Computing[2025]-情報処理・データサイエンス演習-、静岡?学情報教育プロジェクト編、学 術図書出版社、 2025 年						
予習・復習について	授業時間内には教科書の習を必ず?って くること。また復習とし	て出された記	果題を?うこ	と。			
成績評価の 方法・基準	学習対象のアプリケーション操作を学ぶ?				<b>赴いこ</b> な	:せる基礎?を持	ち、かつアプリケーシ

	法についても習熟していることを合格の基準とします。毎回の学習状況の報告 (オンライン) と課題レポ
	ートにより評価し
	ます。
オフィス	基本は?曜?昼休みですが、その他の時間帯もメール等で随時質問や zoom?談を申し込んで下さい。
アワー	
	以下のこしがとについては並即の党羽内容も9八海羽しておいてください、Windows の其本提佐、り、チ
担当教員か	以下のことがらについては前期の学習内容を?分復習しておいてください。Windows の基本操作、タッチ タイピング、ファ
らのメッセ	イル・フォルダの操作、電?メール、Web ブラウザの操作、情報学部ファイルサーバ(FS)の操作
ージ	
アクティ	調査学習、プレゼンテーション、PBL
ブ・ラーニ	
ング	
実務経験の	
ある教員の	
有無	
実務経験の	
ある教員の	
経歴と授業	
内容	
授業実施形	対面授業科目
態	1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
オンライン	オンデマンド教材を視聴してそこに指?された?法で学習や課題解決を?ってもらいます。
授業 (詳細)	
教職科目区	
分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)							
担当教員名	小西	達裕	Ī.	<b>「属等</b>	学術院	情報学領域		
153800	(KONISHI '	Tatsuhiro)	4	T究室	J —	1 3 0 9		
分担教員名			T					
クラス	再履修(情)1	学期	後		必修選択区分			
対象学年	2年	単位数	DDCA サイカi	曜日・時間		づく問題解決 データサ		
キーワード 授業の目標	Word、Powerpoint、Excel、学びの PDCA サイクル、ピアレビュー、統計に基づく問題解決、データサイエンス 今や大学生にとって、情報機器を活用するスキルは必須のものとなっています。インターネットを使った膨大な情報へのアクセスや遠隔地とのコミュニケーション、ワープロや表計算ソフトを使った文書の作成や計算・グラフの作成、PC で作成したスライドを使ってのプレゼンテーションなど、どれもできて当然。とはいっても、実際に体験してみなければ身につかないものです。本科目の履修により。ワープロ、							
学習内容	するため、課題・宿題が個人所有のノート PC を教材(音声つきスライド)本年度は【昨年度までと・和文ワープロ Word に・プレゼンテーションツ・表計算ソフト Excel	表計算、プレゼンテーションツール、インターネットを実践的に活用できるようになります。体験を重視するため、課題・宿題が比較的多くなります。意欲をもって取り組んでください。個人所有のノート PC を使い、コンピュータの操作と基本的なソフトウエアの使い方を実習します。教材(音声つきスライド)をダウンロードして視聴し、そこで指示された課題に取り組む形式が基本です。本年度は【昨年度までと異なり教室での集合授業になりますので】注意してください。・和文ワープロ Word による文書作成・プレゼンテーションツール Powerpoint によるプレゼン資料作成と発表・表計算ソフト Excel による統計データ処理に基づく問題解決						
授業計画	1. Word 編(学びの PDCA サイクル)							
受講要件	1年次にこの授業の単位を取得できなかった学生が対象です。							
テキスト	各回に教材ファイルを配布します。							
参考書	Let's Enjoy Computing[2025]-情報処理・データサイエンス演習・、静岡大学情報教育プロジェクト編、学 術図書出版社、2025 年							
予習・復習 について	授業時間内には教科書の 予習を必ず行ってくるこ					ます。よって指示された		
成績評価の方法・基準	学習対象のアプリケーション操作を学ぶ方法につイン)と課題レポートに	予習を必ず行ってくること。また復習として出された課題を行うこと。 学習対象のアプリケーションを学習・研究・将来の業務に使いこなせる基礎力を持ち、かつアプリケーション操作を学ぶ方法についても習熟していることを合格の基準とします。毎回の学習状況の報告(オンライン)と課題レポートにより評価します。 基本は火曜日昼休みですが、その他の時間帯もメール等で随時質問や zoom 面談を申し込んで下さい。						
オフィスアワー		, - ,-						
担当教員からのメッセージ	席して受講方法の説明を 再履修者が対象ですので	聞いてくだる 、受講方法が	【重要 第1回授業は、1年生クラスの第1回授業と合同で実施します。1年生時間割を確認し、必ず出席して受講方法の説明を聞いてください。】 再履修者が対象ですので、受講方法が1年生と多少異なります。上記第1回授業で説明します。欠席してしまった場合は担当教員にメールで連絡してください。学情システムの質問機能は使用できません。教員					

メールアドレス:konishi@inf.shizuoka.ac.jp
以下のことがらについては十分復習しておいてください。Windows の基本操作、タッチタイピング、フ
ァイル・フォルダの操作、電子メール、Web ブラウザの操作、情報学部ファイルサーバ (FS)の操作
プイプレーフ オプレグ <sup>0</sup> グ1末 P、 电 1 プ・ プレ <b>、WC</b> D フ フ グ グ <sup>0</sup> ジ1末 P、 旧 和 子 印 フ ブ イ ブレ グ ー グ・ (I D) <sup>0</sup> ジ1末 P
調査学習、プレゼンテーション、PBL
対面授業科目
オンデマンド教材を視聴してそこに指示された方法で学習や課題解決を行ってもらいます。

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)					
	橋本	岳	所	属等	創造科学	学技術研究部
担当教員名	(HASHIMOTO Takeshi)			究室	工学部 1	号館 232 室
分担教員名						
クラス	E (クラス I )	学期	前其	月	必修選択区分	必、選択
対象学年	1年	単位数	2	曜日·時限	Į	木 3・4
キーワード	情報処理、データサイエ ョンソフト、プログラミ		<b>津</b> 、電子メール	、ワープロ)	ノフト、表計算	ソフト、プレゼンテーシ
授業の目標	実習科?として、コンピュます. すなわち、1) コンフの作成や複雑な計算を Office ソフトウェアを利ュニケーションツールと 算ソフトで?うことができ あばてプログラミンク	アピュータを ?うためにワ ?できるよう してコンピュ るようにな の基礎,デー	介したコミュニケープロソフトやまになる、3)「情幸 になる、3)「情幸 ュータを適切に利 ることを?指しま ータサイエンスと	アーションが 表計算ソフト B」を適切に  ?できるよう す. また, 数 ??知能との	できるようにな、, プレゼンテー扱うことができ 扱うことができ になる, 5) 基々 式処理ソフト N 関係等について	ca, 2) ?度な?書やグラーションソフトといった るようになる, 4) コミ は的なデータ処理を表計 Mathematica や Python も学びます.
学習内容	コンピュータの操作と情情報倫理、プレゼンテー職業??活で「データ」 を学びます.	ションソフ	トなどの知識,利	]??法を学習	します。さらに	, 将来の?学での学びや
授業計画	下記は目安であり、多少	変更されるで	可能性があります	•		
	オンデマンド授業の回を除き、原則として全ての回は対面形式で授業を行います。ただし、教室等の都合により、一部の回はオンライン授業で行われる場合があり、そのときは事前に連絡をします。 オンデマンド授業の回(第 14 回)については、授業動画を Microsoft 365 経由で視聴できるようにする予定です。 1. [4 月 17 日] 情報処理の意義、ネット社会において気をつけるべきこと 2. [4 月 24 日] ドキュメント作成 1 (文書の作成と編集、書式の設定) 3. [5 月 1 日] ドキュメント作成 2 (表の作成、数式エディタ) 4. [5 月 8 日] データ処理 1 (セルの概念、数値データ処理、関数) 5. [5 月 15 日] データ処理 2 (表のデザイン、グラフの作成) 6. [5 月 22 日] データ処理 3 (データサイエンスへの応用) 7. [5 月 29 日] プレゼンテーション 1 (プレゼンテーションの作成、スライドの編集) 8. [6 月 5 日] プレゼンテーション 2 (スライドの整理、動きのあるプレゼンテーション) 9. [6 月 12 日] プログラミング基礎 1 (Mathematica の導入、グラフのプロット) 10. [6 月 19 日] プログラミング基礎 2 (3 次元グラフ、Fit 関数によるデータ処理) 11. [6 月 26 日] プログラミング基礎 3 (因数分解、方程式の求解、インタラクティブ操作、微積分) 12. [7 月 3 日] プログラミング基礎 4 (Python の導入、Python の基礎) 13. [7 月 10 日] プログラミング基礎 5 (条件分岐、関数定義) 14. [オンデマンド] データサイエンスと人工知能(13 週目以降配信) 15. [7 月 24 日] プログラミング基礎 6 (データの可視化、機械学習体験)					
受講要件	なし					
テキスト	Let's Enjoy Computing[ 術図書出版社,2025	2025]-情報处	<u>し</u> 理・データサイン	ェンス演習-,	静岡大学情報	教育プロジェクト編,学
参考書	なし(必要に応じて、授	業で適宜紹久	介します)			
予習・復習 について	予習として,授業前にテ 復習として,授業で説明 示する課題等を行ってく	を受けた内容 ださい。	Fを繰り返し行う	ことで十分に		=
成績評価の 方法・基準	毎回の課題(60%)、最	終課題(40%	ら) により評価さ	れます。		
オフィスアワー	担当教員あてに,メールル不達・見落としの可能					

担当教員からのメッセージ	この授業では、個人所有のノートパソコンによって実習を行いますので、毎回忘れずにノートパソコンを 持参してください(持参するのを忘れてしまうと、授業に参加できなくなってしまいます)。また、第 1 回授業のときにはノートパソコン以外にも、入学時に発行されている静大 ID、パスワード、メールアド レスの情報を必ず持参してください。 この授業では、大学の学務情報システムや Microsoft Teams もフル活用しますので、これらの操作にも なるべく早く慣れるようにしてください。
アクティ	調査学習〔インターネットを使った情報の検索〕、プレゼンテーション〔プレゼンソフトを使ったプレゼ
ブ・ラーニ	ン実践〕
ング	
実務経験の	
ある教員の	
有無	
実務経験の	
ある教員の	
経歴と授業	
内容	
授業実施形	対面授業科目
態	
オンライン	オンデマンド回の受講方法は、後日授業中に指示します. オンデマンド回の受講方法は、後日授業中に指
授業 (詳細)	示します.
教職科目区	
分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)						
担当教員名	大多	哲史	所原	属等	<u> </u>	<b>学務</b> 部	
四切员们	(OTA Satoshi) 研究室						
分担教員名							
クラス	E (クラスⅡ)	学期	前期	1	必修選択区分	必、選択	
対象学年	1年	単位数	2	曜日·時限		木 3・4	
キーワード	情報処理、データサイエョンソフト、プログラミ		帝理、電子メール、	、ワープロ)	ノフト、表計算ご	ノフト、プレゼンテーシ	
授業の目標	ます. すなわち, 1) コンフの作成や複雑な計算をOffice ソフトウェアを利ユニケーションツールと算ソフトで?うことができあじてプログラミング	実習科?として、コンピュータを?いて「情報」を扱うため基本的な知識・スキルを獲得することを?指します. すなわち、1) コンピュータを介したコミュニケーションができるようになる、2) ?度な?書やグラフの作成や複雑な計算を?うためにワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトといったOffice ソフトウェアを利?できるようになる、3) 「情報」を適切に扱うことができるようになる、4) コミュニケーションツールとしてコンピュータを適切に利?できるようになる、5) 基本的なデータ処理を表計算ソフトで?うことができるようになることを?指します.また、数式処理ソフト Mathematica や Pythonを通じてプログラミングの基礎、データサイエンスと??知能との関係等についても学びます.					
学習内容	コンピュータの操作と情情報倫理、プレゼンテー職業??活で「データ」 を学びます.	ションソフ	トなどの知識,利	??法を学習	します。さらに	,将来の?学での学びや	
授業計画	下記は目安であり、多少	変更されるで	可能性があります	•			
	オンデマンド授業の回を除き、原則として全ての回は対面形式で授業を行います。ただし、教室等の都合により、一部の回はオンライン授業で行われる場合があり、そのときは事前に連絡をします。 オンデマンド授業の回(第 14 回)については、授業動画を Microsoft 365 経由で視聴できるようにする 予定です。 1. [4 月 17 日] 情報処理の意義、ネット社会において気をつけるべきこと 2. [4 月 24 日] ドキュメント作成 1 (文書の作成と編集、書式の設定) 3. [5 月 1 日] ドキュメント作成 2 (表の作成、数式エディタ) 4. [5 月 8 日] データ処理 1 (セルの概念、数値データ処理、関数) 5. [5 月 15 日] データ処理 2 (表のデザイン、グラフの作成) 6. [5 月 22 日] データ処理 3 (データサイエンスへの応用) 7. [5 月 29 日] プレゼンテーション 1 (プレゼンテーションの作成、スライドの編集) 8. [6 月 5 日] プレゼンテーション 2 (スライドの整理、動きのあるプレゼンテーション) 9. [6 月 12 日] プログラミング基礎 1 (Mathematica の導入、グラフのプロット) 10. [6 月 19 日] プログラミング基礎 2 (3 次元グラフ、Fit 関数によるデータ処理) 11. [6 月 26 日] プログラミング基礎 3 (因数分解、方程式の求解、インタラクティブ操作、微積分) 12. [7 月 3 日] プログラミング基礎 4 (Python の導入、Python の基礎) 13. [7 月 10 日] プログラミング基礎 5 (条件分岐、関数定義) 14. [オンデマンド] データサイエンスと人工知能(13 週目以降配信) 15. [7 月 24 日] プログラミング基礎 6 (データの可視化、機械学習体験)						
受講要件	なし						
テキスト	Let's Enjoy Computing[ 術図書出版社,2025	2025]-情報奴	<u>l</u> 理・データサイニ	ェンス演習-,	静岡大学情報	教育プロジェクト編,学	
参考書	なし(必要に応じて、授	業で適宜紹久	介します)				
予習・復習 について	予習として,授業前にテ 復習として,授業で説明 示する課題等を行ってく	を受けた内容 ださい。	字を繰り返し行う	ことで十分に		=	
成績評価の 方法・基準	毎回の課題(60%)、最		ん) により評価され	れます。			
オフィスアワー	担当教員あてに,メールル不達・見落としの可能						

担当教員からのメッセージ	この授業では、個人所有のノートパソコンによって実習を行いますので、毎回忘れずにノートパソコンを 持参してください(持参するのを忘れてしまうと、授業に参加できなくなってしまいます)。また、第 1 回授業のときにはノートパソコン以外にも、入学時に発行されている静大 ID、パスワード、メールアド レスの情報を必ず持参してください。 この授業では、大学の学務情報システムや Microsoft Teams もフル活用しますので、これらの操作にも なるべく早く慣れるようにしてください。
アクティ	調査学習〔インターネットを使った情報の検索〕、プレゼンテーション〔プレゼンソフトを使ったプレゼ
ブ・ラーニ	ン実践〕
ング	
実務経験の	
ある教員の	
有無	
実務経験の	
ある教員の	
経歴と授業	
内容	
授業実施形	対面授業科目
態	
オンライン	オンデマンド回の受講方法は、後日授業中に指示します. オンデマンド回の受講方法は、後日授業中に指
授業 (詳細)	示します.
教職科目区	
分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)							
	井上	翼		所属等			創造科学技術研究部	
担当教員名	(INOUE Yoku)			研究室	<b>工学部 1 号館 232 室</b>			
分担教員名								
クラス	D (クラス I )	学期		前期		必修選択区分	必、選択	
対象学年	1年	単位数	2	曜日・日		· ·		
キーワード	情報処理、データサイエョンソフト、プログラミ		倫理、電?メ <sup>、</sup>	ール、ワープ	ロソフ	フト、表計算ソ	フト、プレゼンテーシ	
授業の目標	現代社会では「情報」をコンピュータを?いて「情報」を扱うためータを介したコミータを介したコミーンができるフトや表計算ソフト、フトや表計算と適切に扱を適切に利?できるようしとを?指します.	扱うためのを 基本的な知 るようになる。 ペレゼンテーミ うことができ こなる。(5)	職・スキルを (2)?度な' ションソフト さるようにな 基本的なデー	:獲得すること ?書やグラフの 、といった O? る, (4) コミ ータ処理を表言	: を?す )作成 ce ソ ュニ!   算ソ	旨します. 具体 や複雑な計算を フトウェアがる ケーションツー フトで?うこと	的には,(1)コンピュ を?うためにワープロソ 刊?できるようになる, ルとしてコンピュータ ができるようになるこ	
学習内容	コンピュータの操作と情ブラウザ、情報倫理、フ での学びや職業??活で「	プレゼンテー	ションソフト	、などの知識,	利??	法を学習しまっ	す。さらに、将来の?学	
授業計画	<ol> <li>情報処理の基本(基本的操作と情報倫理)</li> <li>インターネットを使ったコミュニケーション(電?メールの使い?)</li> <li>インターネットを使った情報の検索(ブラウザを使った情報検索)</li> <li>ドキュメント作成1 (ワープロソフトの基本)</li> <li>ドキュメント作成2 (ワープロソフトの使ったドキュメント作成)</li> <li>データ処理1 (表計算ソフトの基本)</li> <li>データ処理2 (数値データ処理)</li> <li>データ処理3 (関数、グラフ作成)</li> <li>データ処理4 (表デザイン、データサイエンス応?)</li> <li>プレゼンテーション(プレゼンソフトの基本)</li> <li>プレゼンテーション(プレゼンテーション作成、スライド編集)</li> <li>プレゼンテーション(スライド整理、アニメーション他)</li> <li>プログラミングの基礎1 (マクロ動作基本)</li> <li>プログラミングの基礎2 (マクロを使った計算他)</li> </ol>							
受講要件	15. まとめ (オンデマ)   なし	7, 10 2.						
テキスト	Let's Enjoy Computing[2025]-情報処理・データサイエンス演習-静岡大学情報教育プロジェクト編 学術 図書出版社 2025 年							
参考書								
予習・復習 について	事前にテキストを目を通しておいてください。また、授業後には演習課題を自分の PC で再度確認してください。							
成績評価の方法・基準	授業中の課題への取り組みの様?(40%)、提出課題の習熟度(60%)により評価を?う。 秀講義内容全般をよく理解し?分な習得が?られる 優講義内容全般を理解し、習得している良講義内容全般を概ね理解できる 可講義内容の基本を理解できる 不可講義内容の基本を理解できない							
オフィスアワー	授業中に連絡する教員官 17:00 です。	<u>-</u> 毛子メールア	ドレスにメ	ールで連絡を	して	ください。オフ	フィスアワーは 15:00-	
担当教員か らのメッセ ージ	実習室でパソコンを利? 回?の授業?にそれらの情			ード,メールフ	アドレ	·スは, ?学時に	配布されています. 1	
アクティブ・ラーニ	調査学習〔インターネ <sub>ッ</sub> ン実践〕	,トを使った「	青報の検索〕	、プレゼンテ・	ーショ	ョン〔プレゼン	ソフトを使ったプレゼ	

. 18	
ング	
実務経験の	
ある教員の	
有無	
実務経験の	
ある教員の	
経歴と授業	
内容	
授業実施形	対面授業科目〔14回〕
態	
オンライン	15 週?に、講義全体を通しての重要なポイントをまとめた動画を配信する。オンデマンド受講とする。
授業 (詳細)	
教職科目区	
分	

授業科目名	情報処理・データサイエンス演習 (Information Processing and Data Science)							
	小南	裕子		所属等	<u> </u>	創造科学	技術研究部	
担当教員名	(KOMINAMI Hiroko)			研究室	<u> </u>	工学部 1 号館 232 室		
分担教員名								
クラス	D (クラスⅡ)	学期		前期		必修選択区分	必、選択	
対象学年	1年	単位数	2		醒日・時限		月 1・2	
キーワード	情報処理、データサイエ ョンソフト、プログラミ		論理、電子メ <sup>、</sup>	ール、5	<b>フープロソ</b> )	フト、表計算ソ	フト、プレゼンテーシ	
授業の目標	現代社会では「情報」を コンピュータを用いて「 は、(1) コンピュータを や複雑な計算を行うため ソフトウェアが利用でき ニケーションツールとし 算ソフトで行うことがて	情報」を扱う 介したコミニ うにワープロ るようになって でるようになって できるようにな	ため基本的: ユニケーショ ソフトや表計 る、(3)「情幸 ータを適切に なることを目	な知識・ ンがマラ ・ かりソフ るい い い い い で い れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ	スキルをク きるように ト,プレセ 切に扱うこ きるように す.	<ul><li>獲得することをなる、(2) 高度</li><li>シテーションことができるよなる、(5) 基本</li></ul>	目指します. 具体的に な文書やグラフの作成 ソフトといった Office うになる, (4) コミュ 的なデータ処理を表計	
学習内容	コンピュータの操作と情ブラウザ、情報倫理、プ 学での学びや職業人生活	゚レゼンテーシ	/ョンソフト	などの知	汩識,利用	方法を学習しま	す。さらに、将来の大	
授業計画	下記に示す通りとしますが、進捗状況によって内容を若干変更する可能性があります. 1. 情報処理の基本(基本的操作と情報倫理) 2. インターネットを使ったコミュニケーション(電子メールの使い方) 3. インターネットを使った情報の検索(ブラウザを使った情報検索) 4. ドキュメント作成1(ワープロソフトの基本) 5. ドキュメント作成2(ワープロソフトの使ったドキュメント作成) 6. データ処理1(表計算ソフトの基本) 7. データ処理2(数値データ処理) 8. データ処理3(関数、グラフ作成) 9. データ処理4(表デザイン、データサイエンス応用) 10. プレゼンテーション(プレゼンソフトの基本) 11. プレゼンテーション(プレゼンアーション作成、スライド編集) 12. プレゼンテーション(スライド整理、アニメーション他) 13. プログラミングの基礎1(Python 動作基本) 14. プログラミングの基礎2(Python を使った計算、グラフ作成他)							
受講要件	15. まとめ (オンデマンド, 15 週目に配信)         なし							
テキスト	Let's Enjoy Computing[ 術図書出版社、2025 年	Let's Enjoy Computing[2025]-情報処理・データサイエンス演習・、静岡大学情報教育プロジェクト編、学						
参考書								
予習・復習 について	事前にテキストに目を通	しておくこ。	と。また授業	後には、	演習課題は	こついて自身の	PC で再度確認してく	
成績評価の方法・基準	ださい。 授業中の課題への取り組みの様子(40%)、提出課題の習熟度(60%)により評価を行う。 秀講義内容全般をよく理解し十分な習得が見られる 優講義内容全般を理解し、習得している 良講義内容全般を概ね理解できる 可講義内容の基本を理解できる 不可講義内容の基本を理解できない							
オフィスアワー	オフィスアワーは月 13:00-15:00 としますが、必ず事前に連絡を入れてください(授業中の口頭確認可)、 授業内に通達する、講義用アドレス宛にメールで連絡をしてください。(状況によっては TA が返答しま							
担当教員か らのメッセ ージ		す) 実習室でパソコンを利用するための ID とパスワード、メールアドレスは、入学時に配布されています. 1回目の授業日に、それらの情報を必ず持参すること.						
ア ク テ ィ ブ・ラーニ ング	調査学習、プレゼンテー	-ション						

実務経験の	
ある教員の	
有無	
実務経験の	
ある教員の	
経歴と授業	
内容	
授業実施形	対面授業科目〔14回〕
態	
オンライン	15 週目に、講義全体を通しての重要なポイントをまとめた動画を配信する。オンデマンド受講とする。
授業 (詳細)	
教職科目区	
分	

授業科目名					ーイエンス演 and Data S			
	水谷			所属			技術研究部	
担当教員名	(MIZUTANI				<del></del>	工学部 1 号館 232 室		
分担教員名								
クラス	S	学期		前期		必修選択区分	必、選択	
対象学年	1年	単位数	2		曜日・時限			
キーワード	情報処理、データサイエンス、情報倫理、電子メール、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト							
授業の目標	現代社会では「情報」を コンピュータを用いて「 は,(1)コンピュータを や複雑な計算を行うため ソフトウェアが利用でき ニケーションツールとし 算ソフトで行うことがで	情報」を扱う介したコミニ かにワープロ るようになっ てコンピュー	ため基本的 ユニケーショ ソフトや表 る, (3)「情 ータを適切い	かな知識 ョンがて 計算ソン 報」を こ利用で	・スキルをタ ごきるように フト, プレセ 適切に扱うご ごきるように	獲得することを なる, (2) 高度 ごンテーション∑ ことができるよ	目指します. 具体的に な文書やグラフの作成 ソフトといった Office うになる, (4) コミュ	
学習内容	コンピュータの操作と情 ブラウザ、情報倫理、プ 学での学びや職業人生活	レゼンテージ	/ョンソフト	へなどの	知識,利用	方法を学習しま	す。さらに、将来の大	
授業計画	<ol> <li>計算機環境の整備</li> <li>計算機の基本操作と情報倫理</li> <li>Word での文章作成</li> <li>Excel の基本操作</li> <li>Excel でのデータ処理</li> <li>LaTex の環境構築 (オンデマンド授業)</li> <li>LaTex の基本操作</li> <li>PowerPoint の基本操作</li> <li>グループワーク</li> <li>プレゼンテーション</li> <li>アルゴリズムの設計</li> <li>Python の復習</li> <li>プログラミング課題に挑戦</li> <li>Python でのデータ処理:教師あり学習</li> <li>Python でのデータ処理:教師なし学習</li> </ol>							
受講要件								
テキスト	Let's Enjoy Computing	[2025] - 情幸	<b>最処理・デ</b> ー	ータサイ	エンス演習	- (学術図書出	版)	
参考書	授業の中で指示します.							
予習・復習について	授業の中で指示します.							
成績評価の方法・基準	演習課題の得点に基づいて評価します. 詳細について授業の中で説明します.							
オフィスアワー	メールで対応可能な日時を問い合わせてください.							
担当教員からのメッセージ	毎回ノートパソコンを持参してください.							
アクティ ブ・ラーニ ング								
実務経験の ある教員の 有無								
実務経験のある教員の								

経歴と授業 内容	
授業実施形	対面授業科目
態	
オンライン	6回目のLaTexの環境構築はオンデマンド授業となります.
授業 (詳細)	
教職科目区	
分	